

withコロナから afterコロナに適応した レジリエントで持続可能な社会を創る

「スマートシティと デジタル市役所の推進」



令和3年 宇部市は100周年を迎えます



令和3年宇部市100周年
新庁舎建設(デジタル市役所)

SDGs未来都市

Smart City UBE

2020年版 宝島社「住みたい田舎」ベストランキング

人口10万人以上の大きなまち総合部門 第1位

シニア部門 第2位

瀬戸内の穏やかな気候

山の幸と海の幸

自然のやすらぎ

まちの賑わい

宇部フロンティア大学



山口大学医学部
附属病院



宇部市メディカル
クリエイティブ
センター



山口大学工学部



宇部工業高等専門学校



宇部テクノパーク



宇部新都市



山口県産業技術センター



JAXA西日本衛星
防災利用センター

臨空頭脳パーク

まちをつくる「人の力」～人財が宝

未来につながる～時代の流れをつかむ革新的な挑戦！～

戦災復興

- 石炭景気によるまちの復興
- 化学工業・セメント工業への転換への取組

1951年 世界一灰の降るまち



公害対策基本法ができる20年前から
公害克服への取組
産・官・学・民による公害克服



■緑化・花壇づくり
「花壇コンクール」として
今に引き継がれる



■彫刻のあるまちづくり
日本におけるパブリック・
アートのさきがけとなった

未来に先駆けた、
官民連携によるまちづくり

宇部SDGsの原点がここに！

ステークホルダーによるプラットフォーム



宇部方式：情報の公開を基礎に、「産・官・学・民」が相互信頼と対話により、科学的データに基づき、公害の防止と環境問題の解決を図る自主的活動。この取り組みが国際的に高く評価され、1997年にUNEP（国際連合環境計画）からグローバル500賞を受賞。

地方創生

- ▶ 人口減少と地域経済縮小の克服
- ▶ まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

人々が安心して暮らせる、持続可能なまちづくりと地域の活性化を実現



スマートシティ関連の主な取組

- 2014年 オープンデータ公開開始
- 2018年 やまぐち自治体クラウド基幹系業務システムの
共同利用に関する協定締結
- 2019年 デジタル市役所推進計画
- 2019年 IoT推進ラボ(スマート農業の取組)
- **2019年 宇部市スマートシティ推進本部設置**
- 2019年 NTTドコモと5G等活用の連携協定
- 2019年 市役所デジタル申請窓口設置
- 2020年 東京大学大学院情報学環と情報通信技術連携協定
- **2020年 財務会計・文書管理システム**
(電子化率 決裁書類約80%、会計帳票ほぼ100%)
- 2020年 電子入札システム導入
- **2020年 内閣府 未来技術社会実装事業**
「スマートシティ宇部プロジェクト」選定
- **2020年 「書面、押印、対面」の見直しに向けた共同宣言**
- 2020年 世界経済フォーラム第4次産業革命日本センター
G20 Global Smart Cities Alliance 参画

宇部市デジタル市役所推進計画

2019年3月

新庁舎

基本方針	目標	施策	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
基本方針① 「行かない、待たない、書かない」 市民生活の利便性向上	1. 申請届出・納付手続の電子化 2. 行政手続オンライン化の推進 3. ワンストップサービスの推進 4. 窓口案内の電子化	1 電子マネーの導入		STEP1	STEP2	STEP3
		2 電子サインの導入	STEP1	STEP2	STEP3	
		3 市民向けスマホアプリの開発	STEP1	STEP2	STEP3	
		4 総合窓口の設置	STEP2		STEP3	
		5 案内ロボットの導入		STEP1	STEP2	STEP3
基本方針② 「いつでも、どこでも、誰とでも」 行政運営の効率化	1. ICT活用による業務の効率化 2. 問い合わせ対応業務の効率化 3. コミュニケーション活性化 4. デジタル・ワークスタイルの実現 5. 業務の標準化・共通化 6. 意思決定の迅速化	6 AI・RPAの活用推進	STEP2	STEP3		
		7 FAQチャットボットの導入	STEP2	STEP3		
		8 コールセンターの設置		STEP1	STEP2	STEP3
		9 フリーアドレス化 (Wi-Fiの拡充)	S1	STEP2		S3
		10 Web会議 (自動議事録の作成、 ペーパーレス会議の活用推進)	STEP1	STEP2	STEP3	
		11 電子ファイリングの導入		STEP1	S2	STEP3
		12 テレワーク環境の高度化	STEP2	STEP3		
		13 自治体クラウドの拡充	STEP2	STEP3		
		14 電子決済の推進	S1	STEP2		STEP3
		基本方針③ 地域課題の解決	1. オープンデータの活用 2. 地域におけるAI、RPA等の革新的 ビッグデータ処理技術の活用推進 3. 地域の生産性の向上	15 ビッグデータの活用研究	STEP1	STEP2
16 オープンデータを活用する 官民共通プラットフォームの構築				STEP1	STEP2	STEP3
17 AI・RPA実証データ、 行政保有データのオープン化の推進	STEP2			STEP3		
基本方針④ 情報通信基盤の整備	1. サービス連携の拡大 2. 庁内ネットワークの最適化	18 閉域モバイル網の構築		STEP1	STEP2	STEP3
		19 地域医療ネットワークとの連携	STEP1		STEP2	STEP3
		20 庁内イントラネットの再構築	STEP1	S2	S3	

STEP1

実施設計
45% (= 9/20)

STEP2
部分導入 (実証)
30% (= 6/20)

STEP3
適用範囲拡大
25% (= 5/20)

令和2年8月1日時点

令和2年度の主な取組(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

「やまぐち自治体行政スマートプロジェクト」の横展開

概要

税務業務・内部管理業務を対象に、RPA等を活用した事務の効率化・改善を検討し、相違点についてはその要因を明らかにしたうえで、BPRによる業務効率化・標準化のための手順やツールの活用方法を整理・具体的な実務への落とし込みを行い、その成果について、圏域市町への横展開を図る。

人口規模がほぼ同程度である4市(宇部市・山口市・岩国市・周南市)において、税務業務・内部管理業務に、RPA等を導入した削減時間等効果。(令和元年度)

個人住民税	「給与所得者等異動届出書に基づく課税異動業務」における、異動届出入力処理(eLTAXから基幹系への連携処理)	RPA導入	<p><削減時間等効果※></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人住民税 約160～1,300時間 ・軽自動車税 約30～350時間 ・法人市民税 約16～100時間 ・財務(財政) 約2～250時間 ・庶務事務 約30～140時間 ・全体効果 正確なデータ連携の実現
軽自動車税	「軽自動車税賦課業務」における入力処理(国等データから基幹系への連携処理)		
法人市民税	法人設立・設置・異動届の入力処理(eLTAXから基幹系への連携処理)		
財務会計(財政)	「決算統計事務」における決算額一覧表の分析作業(作業全体に適用可能か実証)		
庶務事務	「通勤手当申請」における申請内容審査作業および審査結果入力処理		

※対象業務の最小値から最大値。事前準備や作業が新たに発生することにより変動。

成果の横展開

(RPA等の活用方法等のアドバイスやノウハウ提供)

- ・人口減少が深刻化しても、持続可能な形で行政サービスを提供
- ・入力などの単純作業等から職員を解放し、より価値のある業務に注力する時間を確保
- ・標準化が可能な業務を整理し、将来の圏域マネジメントの素地を構築

【令和2年度実施状況】

- ・4市(宇部市・山口市・岩国市・周南市)での、RPA等を活用した事務の効率化・改善の検討を継続
- ・圏域の構成市町からの、RPA等の活用に係る相談 1件

新型コロナウイルス感染症発生前（令和元年11月設置）

宇部市スマートシティ推進本部

ICT・IoT
技術推進部会

スタートアップ
・起業創業等
創出推進部会

再生可能
エネルギー
推進部会

地域課題の解決
市民生活の質の向上



スマート
ウェルネスシティ
推進部会

スマートモビリティ
推進部会

スマート防災
推進部会

withコロナから afterコロナに適応した

レジリエントで持続可能な社会を創る

Smart City UBE Project

未来技術社会実装事業 (令和2年7月31日、内閣府から選定!)

5G等によるデジタルクリエイティブアート

スマート防災

次世代公共交通システム

スマート水産業

AIヘルスケア



先端技術等により市民生活等の利便性・快適性を向上し、
安心して暮らせる住みやすいまちづくりを目指します

5G等によるデジタルクリエイティブアート

まちづくりに
彫刻・アートを取り入れた
50年以上の歴史を活かし、
新しいにぎわいの創出へ



TOKISMA

(旧 山口井筒屋宇部店)



キャッシュレス



UBE STARTUP

(うべ産業共創イノベーションセンター志)
コンテンツ産業の創出



5Gオープンイノベーションプラットフォーム



デジタル
コンテンツ



アート



VR / AR



■スマート防災■

地域の防災力向上

平常時

VR/AR防災啓発コンテンツ



災害時

●避難勧告発令時等
位置情報をAI分析

検討結果を
防災啓発に活かす



→効果的な啓発手法の検討

SNS情報の分析



大雨で〇〇が冠水してる

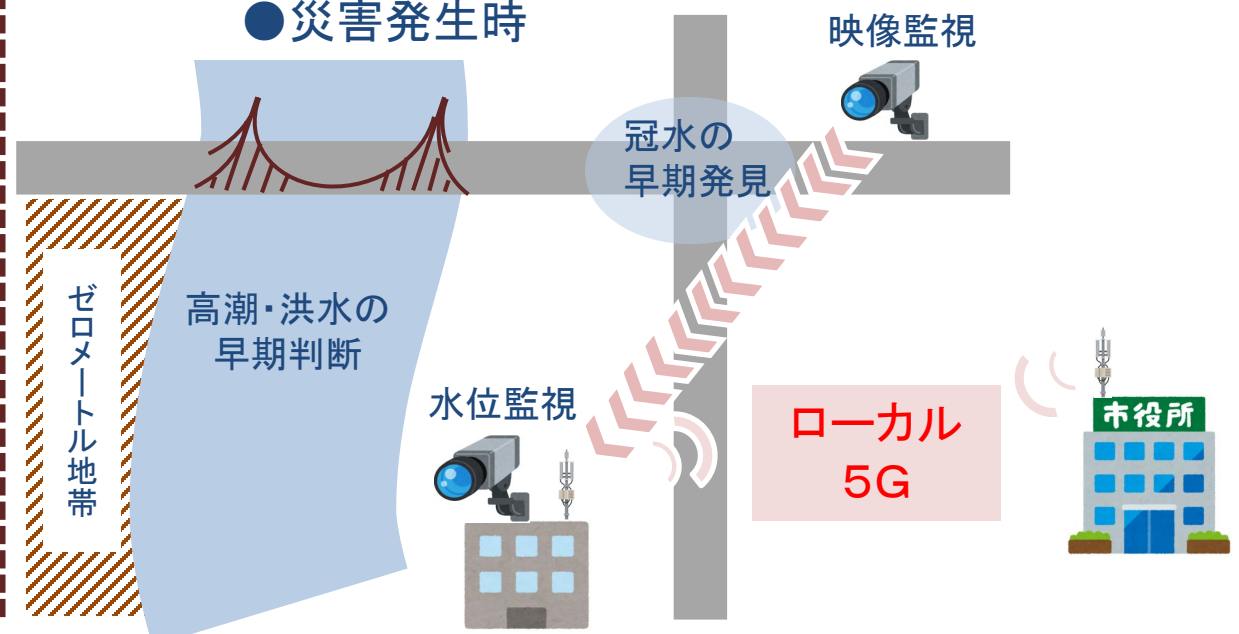
××が通行止め

休校になった

→適切な活用方法の検討

高度水害監視システムの構築

●災害発生時



災害後



早期の被害状況把握



■スマート水産業■

環境モニタリング
センサー

画像センサー

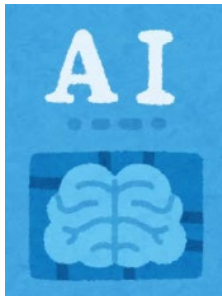


画像分析・データの相関分析

最適なプロトタイプを構築



AIモデルの
試行・研究



生産ノウハウの可視化

新規就漁者の創出・後継者の育成・安定生産・品質確保・ブランド化

持続可能な
水産業の確立へ



食品トレーサビリティシステムの導入

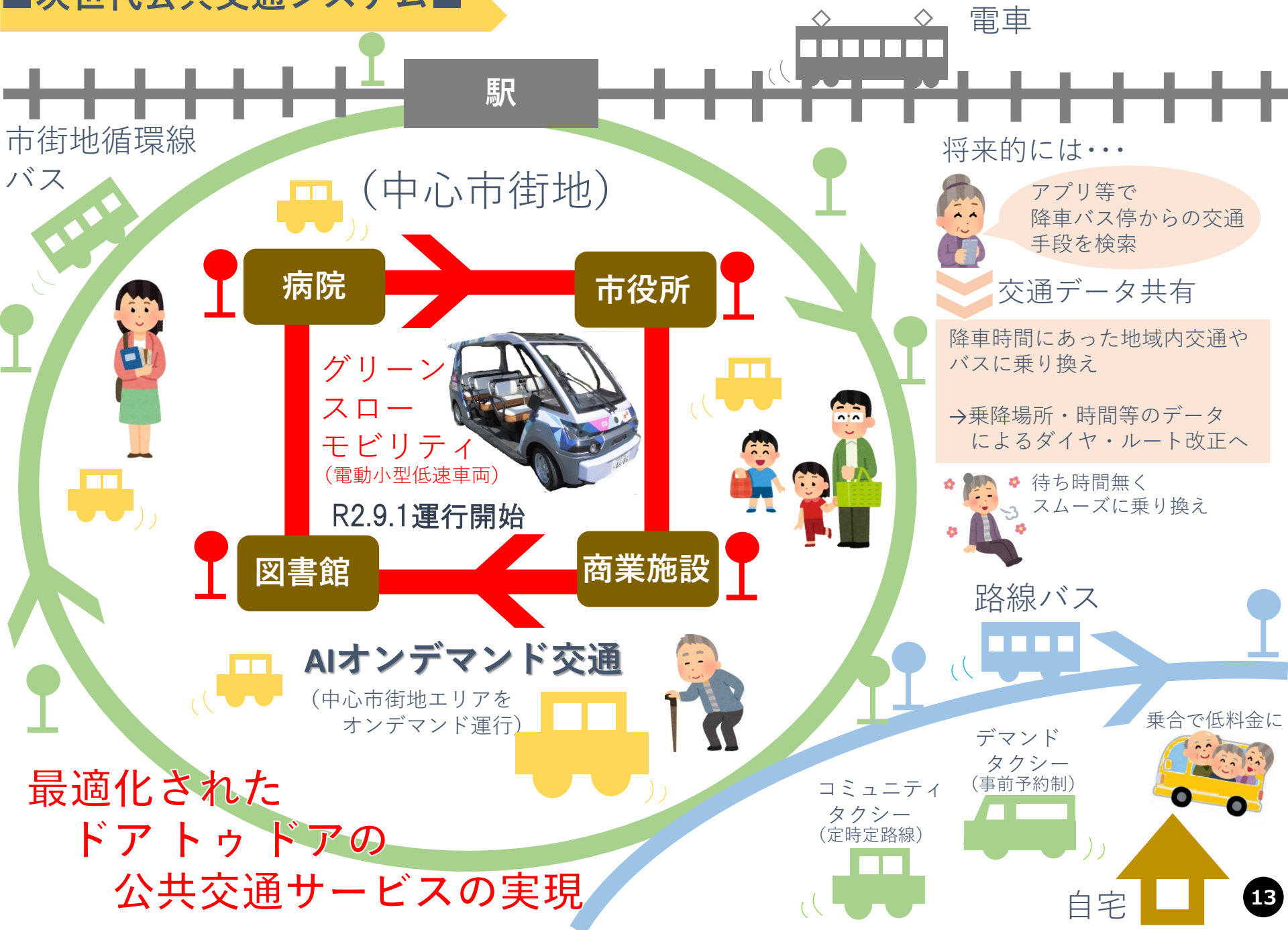
他の一次産品にも横展開していく

流通



産地や流通状態の確認が可能に

次世代公共交通システム



将来的には...

アプリ等で
降車バス停からの交通
手段を検索

交通データ共有

降車時間にあった地域内交通や
バスに乗り換え

→乗降場所・時間等のデータ
によるダイヤ・ルート改正へ

待ち時間無く
スムーズに乗り換え

路線バス



乗合で低料金に

デマンド
タクシー
(事前予約制)



コミュニティ
タクシー
(定時定路線)



自宅



最適化された
ドアトゥドアの
公共交通サービスの実現

健康維持や生活改善による 健幸長寿社会の実現

